

7
実例「長野市」の検証(続)
(9)長野市の農業の全体像今年8月、須坂長野
東インターチェンジ
(IC)の直近北西側
にイオングループが大
型ショッピングセンタI (SC) 進出を予定
している、との第一報
が報じられた。進出を予定する計画
地の面積は、14万3千
㎡(4万3257坪)
で、三大都市圏以外へ
の進出規模としては、
国内最大級の大きさで
あり、現在松本市で計
画されているイオンモ
ール東松本の敷地(約
6万2500㎡、1万
8906坪)の約2・
3倍の規模である。

稿 寄

人口減少社会と
地方都市の活力再生

34

また、予定するSC
の売り場面積は、約
2万5千坪、ながの東
急百貨店の売り場面積
(約5105坪、シェ
ルシエ含む)の約5倍
の広さを誇る。総合プロデュースを
担当する株式会社長工
(本社・三重県四日市
市)によると、当該S
Cを須坂市の広域防災
拠点(避難場所として
商業施設を提供し、避
難民へのSC内商品を支援物資として供給、
提供する等の拠点)と
することを前提に、雇
用機会の増進(公表さ
れた雇用者数は850
人を予定)とともに地
域振興の活躍拠点と位
置付けている。加えて、商圏規模に
至っては、一部上越市
も含んだ北信地域を全
て網羅する64万人商圏
とし、さらに北信地域
を訪れる年間2200
万人の観光客も対象とすることで、シネコン
やエンターテイメント
複合施設、そしてコン
ベンション機能を有し
たホテルも併設すると
しながら、フルスペツ
ク・ワンストップ型の
商業集積ゾーンを形成
するとしている。フルスペック・ワン
ストップ型商業集積施
設とは、最近の一般的
事例でみると、須坂市
の既存商店の誘致はも
とより、一部行政機能、金融、病院、介護施設
も取り込むことで、須坂市の都市機能全体を
当該地にシフトするほ

北東側からみた大型ショッピングセンター建設予定地

どのグランド・デザイ
ンが描かれている可能
性も見てとれる。12月1日の須坂市議
会12月定例会では、三
木正夫市長が施設の建
設計画に賛成する意向
を示している。

(続く)

清水 秀幸氏(しみ
ず・ひでゆき)195
2年長野市生まれ、76
年明治大学政経学部政
治学科卒、同年守谷商
会入社、2006年6
月取締役就任。各支店
長、営業本部長を経て、
退任。13年7月にさく
ら都市総合研究所を設
立し、現在社長。